

くらしの目線で市政を変える

こんにちは
日本共産党

市会議員 西野さち子です



京都市から原発ゼロのメッセージを発信しよう!!

5月議会

くらし、福祉まもれと市長を追及

西野さち子市議が代表質問

5月17日に行われた5月議会の本会議で、西野さち子市議は、日本共産党を代表して市長に質問しました。

福島原発の事故は、今でも放射能汚染水が漏れ出すという事故が続いています。それなのに原発の新基準を守れば原発の稼働を認める立場を改めない門川市長に対して、新基準の危険性について質問しました。新基準について「万が一原発事故が起こっても最小限の被害に抑えるもの」と市長は答弁しました。万が一の事故が福島の過酷事故で、深刻な被害をもたらし続けているのですから、許せない答弁です。

また、生活保護基準の引き下げが子どもの貧困を拡大する事や、市営住宅



「市民のいのちを守るためにも原発ゼロのメッセージを京都市から」。代表質問で市長にせまる西野市議

のお風呂や住み替え制度の改善についても質問しました。

醍醐地域からは多くの皆さんが傍聴に来ていただきました。また、「TVで見ました」と声をかけていただき、西野市議は「これからも皆さんの声を届けて頑張ります」と話しました。

怒 橋下市長は発言の撤回と謝罪を!!

5月19日、雨風のなか、日本共産党は橋下発言に怒っている地域の皆さんと地下鉄醍醐駅前で抗議の宣伝を行いました。



馬場こうへい府議と西野さち子市議がマイクで訴えま

市会超党派女性議員が抗議

「議員として、女性として」許せない橋下暴言!!

5月17日に市会の超党派の女性議員に呼びかけて、橋下大阪市長に対して抗議の表明が行われました。ただ、自民党と公明党の議員が参加を拒否されたことは非情に残念です。

その主な内容は「今回の発言は、女性だけでなく、全ての国民の人格や人権、尊厳を深くきずつけるものです。その発言が市民の人権を守りぬくべき公人によるものであるということに、大きな衝撃を受けています。市会議員として、一人の女性として抗議の意を表明します」と言うものです。



抗議声明を発表する超党派の女性議員のみなさん。自民と公明は参加を拒否した。

した。橋下大阪市長の「従軍慰安婦は必要だった」「風俗を活用すべき」の発言は、女性だけでなく全ての人間に対する許せない侮辱です。間違った歴史認識を改めることと基本的な人権の尊重をうたった憲法を尊重してほしいものです。言い訳を繰り返すのではなく、発言の撤回と謝罪をすべきです。

参院 倉林明子事務所開きに250人

5月18日に日本共産党参議院京都選挙区の倉林明子予定候補の事務所開きが行われ、250人の方が参加されました。

倉林明子予定候補は「福島原発事故は収束していないのに世界一安全な原発と言って地震国に原発を輸出するのは許せない。安倍内閣の暴走を止めるために頑張ります」と訴えました。西野市議も参加しました。

